

日本国際理解教育学会会員の皆様へ

日本国際理解教育学会理事
国際委員会・韓国学会担当
釜田聡（上越教育大学）

韓国国際理解教育学会から、第14回韓国国際理解教育学会のご案内・執筆要領が届きました。ご一読いただき、参加・発表をご希望の場合は、次の手順で申し込みを行ってください。

1 発表のエントリー

9月14日（土）までに、「発表申し込み用紙」を釜田宛にメールにてお送りください。

2 発表原稿の提出

10月3日（木）までに、「発表原稿」を釜田宛にお送りください。
書式等は「執筆要領」に従ってください。

3 そのほか

(1) 参会のみをご希望の場合は、10月3日（木）までに、所属・氏名を釜田宛にメールにてお送りください。

(2) 参加・発表資格は、申し込み時点で、今年度の学会費を完納していることが条件になります。

(3) 航空券等の手配等は各自でお願いいたします。

なお、大会期間中の宿泊先については、韓国国際理解教育学会から何カ所か紹介をしていただく予定です。

【連絡先】

上越教育大学大学院 学校臨床研究
学習臨床コース（総合学習） 釜田 聡
TEL/FAX 025-521-3549
mail kamada@juen.ac.jp

第14回 韓国国際理解教育学会大会のご案内

■大会の概要

- ・日時：2013年11月9日（土）～11月10日（日）
- ・場所：全北大学校
- ・主催：韓国国際理解教育学会、APCEIU 国際理解教育院
- ・後援：全北大学校

■日程

日時	11月9日(土)	日時	11月10日(日)
		9:00	ワークショップ
9:30	受付	12:00	閉会
10:00	開会挨拶		
10:30	シンポジウムⅠ		
12:00	昼食		
13:30	シンポジウムⅡ		
15:00	自由発表		
18:00	懇親会		

■シンポジウムのテーマ

Post-MDGsと国際理解教育

国連のミレニアム開発目標（MDGs）が2015年に終了し、これに対する評価と新たな課題形成のための様々な議論が活発に展開されている。現在の国際社会は、ミレニアム開発目標で設定された8つの主な目標とそれに伴う18の詳細目標及び48の達成指標の状況を評価し、新たな開発協力の構図を作り上げている。新たな協力構図での教育の役割と意味を確立するためには、ミレニアム開発目標での教育の役割と貢献について考察を介して新たな展望を提示する必要がある。今回の韓国国際理解教育学会定期学術大会では、ミレニアム開発目的を終了した時点で、国際理解教育を振り返って新たな開発協力のパラダイムから国際理解教育の展望を議論することを試みる。企画パネルの発表のテーマは、Post-MDGsと世界市民教育、国際開発協力、国際理解教育の展望などである。

[発表及び討論]

- Post-MDGsと世界市民教育
- Post-MDGsと国際開発協力
- 世界市民教育と国際理解教育
- 日本：日本でのPost-MDGsの論議と国際理解教育

■自由発表

第1分科：国際理解教育と世界市民教育

第2分科：人権教育

第3分科：暴力、平和教育

第4分科：文化間の理解及び文化多様性

第5分科：ESD(環境)

第6分科：国際教育協力

第7分科：その他

第8分科(特別分科)：国際理解教育と全州

ーユネスコ食文化創造都市、全州

ー全州の韓スタイル文化産業と文化多様性

■ワークショップのテーマ

お米、東アジアの文化多様性

- 発表：お米と文明（韓国）
- 授業の事例：韓国、日本、中国でのお米を素材にした授業の事例を紹介し、討論する。
(授業の紹介者は 韓国、日本、中国側で各々推薦)

韓国国際理解教育大会開催場所のご案内

■全北大学校

<http://jp.ibnu.ac.kr/contents/liabout/liabout06/liabout0601/liabout0601.php?pageKey=474>



■交通情報

・空港リムジン利用

仁川空港 - 8番出口から全州行きチケットを購入 - 9Cバス停から全州行きバスに搭乗 - 全州コアホテル(Core Hotel)で下車(約4時間所要) - タクシーで全北大学に移動(タクシー代は約5千ウォン)

第 14 回韓国国際理解教育学会大会

シンポジウム・ワークショップ・自由研究の発表者原稿執筆要領

I. シンポジウム・ワークショップ

1. 執筆要領

- (1) MS ワードで作成
- (2) 用紙及び分量：A4 3-5 ページ（ポンド：10-11 ポイント）
- (3) 用紙のレイアウト：左 30 mm、右 30 mm
- (4) ページ番号は入れないでください。

2. 提出期限

2013年10月3日（木）まで（必着でお願いします）。

II. 自由発表

1. 執筆要領

- (1) MS ワードで作成
- (2) 用紙及び分量：A4 2 ページ（ポンド：10-11 ポイント）
- (3) 用紙のレイアウト：左 30 mm、右 30 mm
- (4) ページ番号は入れないでください。

2. 提出期限

2013年10月3日（木）まで（必着でお願いします）。

※発表原稿の言語は韓国語、英語、日本語のいずれでもいいですが、可能であれば韓国語か英語に翻訳した方が望ましいです。